

申請管理システム等構築及び運用保守業務 入札関係資料に関する質問回答

受付NO	資料名称	該当頁	該当項目	質問事項	質 問 内 容	回 答
1	仕様書 別紙11 機能要求一覧	1	項番14	申請データのデータベース格納）ダウンロード について	「申請ZIP に格納されているデータは、オンライン画面から対象ファイルを任意に選択し、まとめてダウンロードできるよう、データベースに格納すること。」とありますが、以下代替機能をご提案することで、機能要件を満たすものとみなすことは可能でしょうか。 【代替機能】 ・マイナポータルから取得した申請zip（すべての添付書類を含む）のダウンロード機能を実装する。 ・職員様にて申請zip をダウンロード後、解凍の上必要なファイルを取得いただく。	マイナポータルから取得した申請ZIP情報に加え、システム上で追加した宛名番号等ファイルや審査補記情報も含めてダウンロードする機能であれば代替可能です。
2	仕様書 別紙11 機能要求一覧	1	項番22	申請内容照会とステータス管理）申請データのダウンロード について	「申請ZIP に格納されているデータは、審査・照会を行うオンライン画面から対象ファイルを任意に選択し、まとめてダウンロードする機能を実装すること。」とありますが、以下代替機能をご提案することで、機能要件を満たすものとみなすことは可能でしょうか。 【代替機能】 ・マイナポータルから取得した申請zip（すべての添付書類を含む）のダウンロード機能を実装する。 ・職員様にて申請zip をダウンロード後、解凍の上必要なファイルを取得いただく。	「受付NO.1」の回答をご確認ください。
3	仕様書 別紙11 機能要求一覧	1	項番23	申請内容照会とステータス管理）ステータス管理について	「複数の申請を選択してステータスの一括更新ができること。」とありますが、以下代替機能をご提案することで、機能要件を満たすものとみなすことは可能でしょうか。 【代替機能】 ・手続き単位で審査することなく、自動的に基幹システムへ申請データを連携する機能の具備 この機能を具備することで、手続き単位で以下のように使い分けることが可能となります。 ・審査が必要な手続き：画面にて1件1件審査を行い、審査後のデータを基幹システムへ連携 ・審査が不要な手続き：画面を開くことなく、ぴったりサービスから申請管理システムへ到着後即座に基幹システムへ申請データを連携	システム上で審査が不要な手続きの場合、基幹システムへ自動的に申請データを連携した時点のステータスは「処理中」等となりますが、基幹システム側で審査が終了した後、ステータスを「完了」等に更新する必要がある、ここでは審査完了後等に手続き単位で複数の申請案件についてステータスを一括で更新できる機能を想定しています。
4	仕様書 別紙11 機能要求一覧	1	項番33	基幹業務システムとの申請データ連携）データ連携機能（3） について	「手続き名や期間等で抽出した複数の申請データを、CSV 等で一括でダウンロードできる機能を実装するなど、基幹業務システムへの手入力やRPA でのデータ入力に対応すること。申請データをCSV に出力する場合は、申請管理システムで補記した情報や、紐づけた宛名番号も含まれていること。」とありますが、「自治体の行政手続のオンライン化に係る申請管理システム等の構築に関する標準仕様書【第 3.0 版】」の「3.4 ④基幹システムとの連携」に記載の「方式1 申請内容照会画面からの転記」「方式2 RPA 等簡易ツールの利用」に対応することで、機能要件を満たすものと考えてよろしいでしょうか。	貴見のとおりです。
5	仕様書（本文）	10 14	2 作業項目（5）運用準備 4 運用・保守（2）保守業務	研修環境とテスト環境について	研修環境とテスト環境を用意することとありますが、両環境を同一の環境を用いて提供することで要件を満たすものと考えてよろしいでしょうか。研修時のみテスト環境を研修環境とみなして利用する想定をしております。	貴見のとおりです。
6	仕様書（本文）	14	4 運用・保守（2）保守業務	保守用の端末について	「・システム保守に関するテスト環境や保守用の端末等については、受注者で準備すること。」とございますが、オンサイト保守については、貴市にて保守端末が用意されているものと認識しております。「保守用の端末」とは、リモート保守を実施する場合の端末を指しているものと考えてよろしいでしょうか。また、テスト環境は、貴市クラウド共通基盤事業者からご提供いただくテスト環境（stg 環境）を利用させていただく想定ですが、問題ないでしょうか。	貴見のとおりです。 オンサイト保守時は、所定の手続きにより、本市が用意する保守端末を利用可能です。 「テスト環境や保守用の端末」は、クラウド共通基盤上に構築するテスト環境（stg 環境）、及び本番環境に、リモートから接続するための端末を指し、クラウド共通基盤上に構築するテスト環境（stg 環境）、本番環境については、クラウド共通基盤事業者が、インフラ機能を提供し、本システムの動作に必要な設定（DBやミドルウェアの設定、デブロイ等）は、本システム事業者に実施して頂く想定です。
7	仕様書（本文） 入札説明書	6-7 4	（3）履行期間 7 入札及び開札に関する事項	入札額内訳書について	・システム構築およびシステム運用保守の区分、並びに、令和7年度から令和11年度の各年度による区分において、見積りの上限額の制約がございましたら、区分各々の見積上限額についてご教示をいただたくお願いいたします。	予定価格に係る事項についてはお答えできません。 入札時は、入札価格（契約期間内の費用総額）が予定価格を越えなければ、プレゼンテーションでの審査に移ります。ご質問については、落札者決定後に各年度の予算額の範囲で調整させて頂く可能性がございます。
8	仕様書（本文）	10	2 作業項目（5）運用準備	システム稼働前の操作研修について	⑧仕様書本文 10 頁「2 作業項目」（5）運用準備 システム稼働前に操作研修を受講される職員様の人数、研修の回数、研修場所をご教示ください。また、研修にあたって必要な環境（研修端末や研修の場所等）は貴市にてご用意いただけるものと考えてよろしかったでしょうか。	システム稼働前の操作研修は、1システムあたり8名程度（本庁担当者＋7区担当者）を対象に、年1回程度の開催を想定しています。開催方法は、最大16名程度の集合形式にオンライン形式を合わせたハイブリッド開催を想定しています。開催場所、使用端末は本市で用意します。 また、研修動画を録画し、研修後にアーカイブ配信を可能とする想定です。
9	仕様書（本文）	15	4 運用・保守（3）サポートデスクによる運用支援	サポートデスクによる運用支援について	弊社内で他政令市様の申請管理システム運用保守業務の1ヶ月当たりの問い合わせ件数を確認したところ、10 件に満たない件数でした。サポートデスクを設置すると、保守員を常駐させることとなり、問い合わせ件数に対して運用保守作業の費用が高くなってしまう。代替運用として、非専任の保守員による電話対応で本要件を満たすものとみなすことは可能でしょうか。 また、代替運用が認められない場合、ヘルプデスクの場所（机や椅子等の什器）、電話、回線、電気代、回線費用等は貴市にてご準備いただけるものと考えてよろしいでしょうか。	仕様書に記載の要件を満たす支援であれば、問題ありません。 サポートデスクは、リモート接続が可能な環境に設置して頂く想定です。 サポートデスク（リモート）で利用する保守端末、場所（机や椅子等の什器）、電話、回線、電気代、回線費用等は、本システム事業者で準備してください。
10	提案内容評価表	2	4 非機能要件）拡張性	提案書項番について	提案書項番が4.4 となっておりますが、サービスレベルからの連番と考えて、4.3 としてよろしいでしょうか。	ご指摘の通り、提案書項番4.3の誤記となりますので、提案内容評価表を修正いたしました。
11	仕様書 別紙10	14	E.3.1.2	Web アプリケーション診断について	Web アプリケーション診断について、選択レベルを下げる条件として「インターネットに接続したアプリケーションを用いない場合」に該当するため、選択レベルを「0」としてもよろしいでしょうか。	貴見のとおりです。
12	入札説明書	5	7 入札及び開札に関する事項（8）入札保証金	入札保証金について	・入札保証金について免除の申出を行いたいのですが、入札前に特に手続きは必要ありませんでしょうか。事前の手続きが必要な場合は、手続き方法についてご教示をお願いいたします。	北九州市契約規則第5条第7項（一般競争入札の入札保証金）に基づく入札保証金の免除については、入札実施までに入札保証金免除を証明する書類の写しのご提出が必要です。免除の種類によって提出物が異なりますので、個別に事務局へご相談いただきますようお願いします。
13	提案内容評価表	1	2 構築計画）体制実績	実績について	要件説明の記載は「過去に類似の業務を適切に管理した実績等があれば、その方法と効果を記述していること」となっておりますが、一方で、評価の観点「3 団体以上の同種業務の履行実績があるかつ、政令指定都市の実績あり・・・」となっております。 提案書の記載事項といたしましては、業務の適切な管理方法と効果を記載するのではなく履行実績を記載するとの理解でよろしいでしょうか。	本市と同等規模の自治体環境で履行実績があるか等を評価する項目となります。適切な管理方法に基づき履行した実績、及びその効果（成果）等を記載ください。 なお、業務の適切な管理方法等の詳細については、提案書項番2、3プロジェクト管理において記載してください。

14	入札説明書	4	7 入札及び開札に関する事項	入札（見積）書に記載する金額について	<質問事項> 入札（見積）書に記載する金額について、仕様書第二章1(3)履行期間に記載の ア．システム構築（契約締結日～R8.2.28）にかかる初期導入費用、および イ．システム運用保守（R8.3.1～R12.3.31）にかかる運用保守費用を合算した金額との理解で齟齬ありませんでしょうか。 <質問背景> 仕様書第二章1(4)導入スケジュールを拝見すると、R7～R9今回調達範囲とあり、 ・システム構築・テスト・研修（R7/8～2） ・本稼働①（R8/3～R9/12） ・手続き追加に伴う設定変更（随時） ・新任者用研修（R8/5、R9/5） となっており、整合性が取れていない為。	貴見のとおりです。 仕様書第二章1（4）の導入スケジュールは、本稼働までの工程（想定）を具体的に記載したのですが、今回調達するシステム運用保守の期間は、令和8年3月1日から令和12年3月31日までとなります。
15	入札説明書	4	7 入札及び開札に関する事項	運用保守費用について	<質問事項> 上記に関連して、 イ．システム運用保守（R8.3.1～R12.3.31）にかかる運用保守費用には、 ・初期導入部分に対する運用保守 ・手続き追加に伴う設定変更（随時） ・新任者用研修（R8－R11の毎年5月） のみを含む理解で齟齬ありませんでしょうか。 なお、手続き追加に伴う設定変更（随時）については、必要に応じて別途費用が発生する可能性があります。	「別紙6 申請管理システム活用予定手続き一覧」に記載の手続き103件分（登録する手続きは変更になる可能性あり）の登録・設定の完了など、仕様書に記載の導入要件を満たした場合の運用保守費用は貴見のとおりです。 記載外の手続きを新たに追加いただく場合の費用については、契約締結後に別途協議して決定します。
16	入札説明書	4	7 入札及び開札に関する事項	窓口支援システムへの対応費用について	<質問事項> 令和10年1月から稼働予定の窓口支援システムの追加に伴い増加する手続きおよびアドオン分については、仕様書第二章1(4)導入スケジュールに「今回調達範囲外」との記載がございます。増加分は上記運用保守に含まれないとの理解でよろしいでしょうか。	貴見のとおりです。 窓口支援システムとの連携に係るシステム改修に伴って運用保守業務の増加が見込まれる場合は、窓口支援システムとの連携対応時に増加分を調達予定です。
17	その他	-	-	再々委託に関して	<質問事項> プロジェクト体制の一部に再々委託がある場合は、契約開始時に北九州市様へご報告すれば問題ないでしょうか。 <質問背景> 弊社および弊社グループ会社（再委託）、福岡県本社協力ベンダー（再委託）での組成を考えておりますが、一部の作業を再委託先からの委託会社で実施する可能性があるため。尚、プロジェクト管理責任者、システム責任者、システム主担当者は、全て提案主体の弊社メンバーを予定。	本業務の全部又は主たる部分、及び全体の履行に関する管理の部分については、再委託できません。 再委託、再々委託範囲の確認が必要になるため、提案書項番2.2「構築体制」、項番5.2「運用・保守体制」の中で、役割や責任分担、指揮命令系統などを明記してください。 また、再委託、再々委託については、契約時に申請書とセキュリティポリシー、法令順守に関する誓約書を、再委託先、再々委託先にも提出頂きます。